ノンストップロードメータ指示計
NSRM
取扱説明書

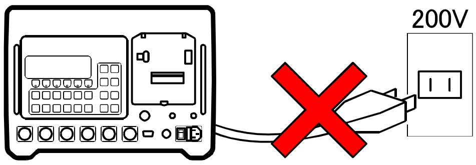
V1.62

2008-190-8

も く じ

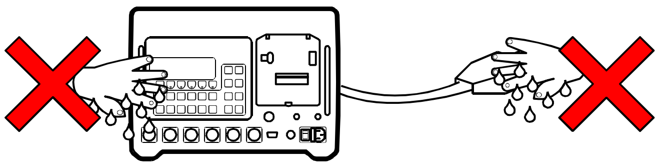
１章 使用上の注意

・充電用のＡＣ電源は１００Ｖです。また、ＤＣ電源は１２～２４Ｖです。
異なる電圧の電源に接続すると、感電、発煙、火災の原因になります。

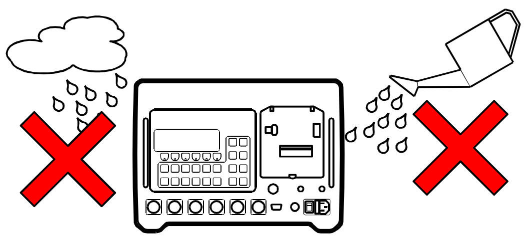


・ＤＣ電源の接続は、付属のケーブルを使用して下さい。異なるケーブルを使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

・指示計を濡れた手で使用しないで下さい。
特に電源ケーブルを濡れた手で取り扱うと、感電の危険があります。
また、指示計の故障の原因となります。

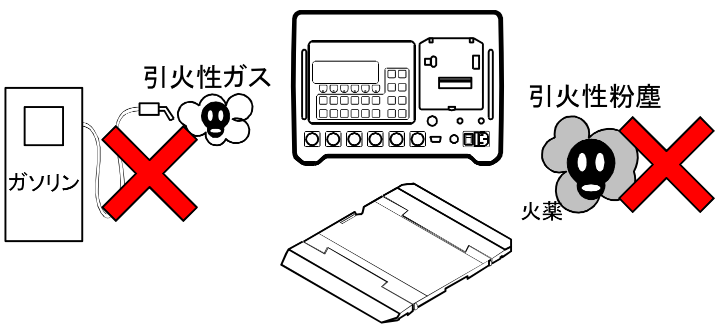


・雨天の屋外で指示計を使用しないで下さい。
また、水や油が飛散する場所で使用しないで下さい。
感電の危険があります。また、指示計の故障の原因となります。



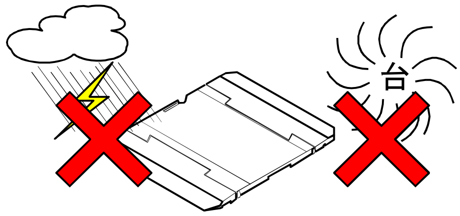
やむを得ず使用する場合は、直接雨水がかからないよう、注意して下さい。

・指示計や計量台を、引火性ガスや引火性粉塵のある場所で使用しないで下さい。
爆発、火災の危険があります。



・指示計のキースイッチは、ボールペン等の固いもので操作しないで下さい。
故障の原因となります。

- 急激な温度変化は避けて下さい。夏や冬の、室内外での温度差の激しい場合には特に注意してください。
- 計量台は、水平かつ平坦で安定した場所に設置して下さい。
計量精度に影響します。
- 計量台を、激しい雨天時で使用することは避けて下さい。



- 風が強い場合、計量精度に影響する場合があります。特に通過計量の場合は十分に注意して下さい。
- ロードセル・ケーブルを踏まないで下さい。ケーブルの断線等の原因となります。

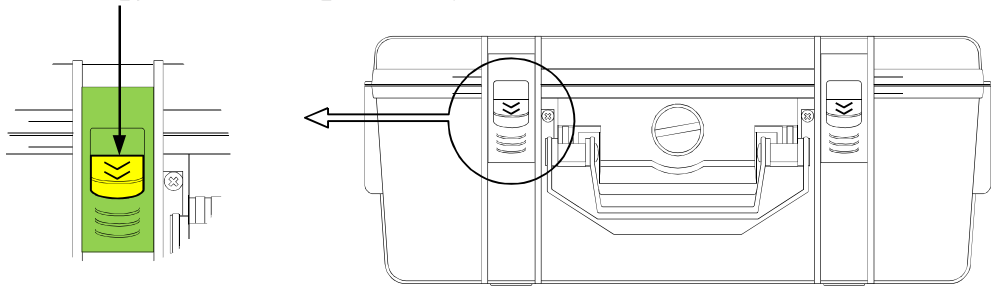
※バッテリーの劣化を防ぐため、以下の事項をお守り下さい。

- 充電が必要な状態（印字すると表示が消える、プリンタの動作が遅い等）で使用し続けると、バッテリーが劣化して充電できなくなる場合があります。
- 使用後は、なるべく早く充電して下さい。使用したまま長時間放置しておくと、バッテリーが劣化して充電できなくなる場合があります。
- 使長期間使用しない場合は、必ず充電してから保管して下さい。

・バッテリーが劣化した場合は、バッテリー交換が必要です。

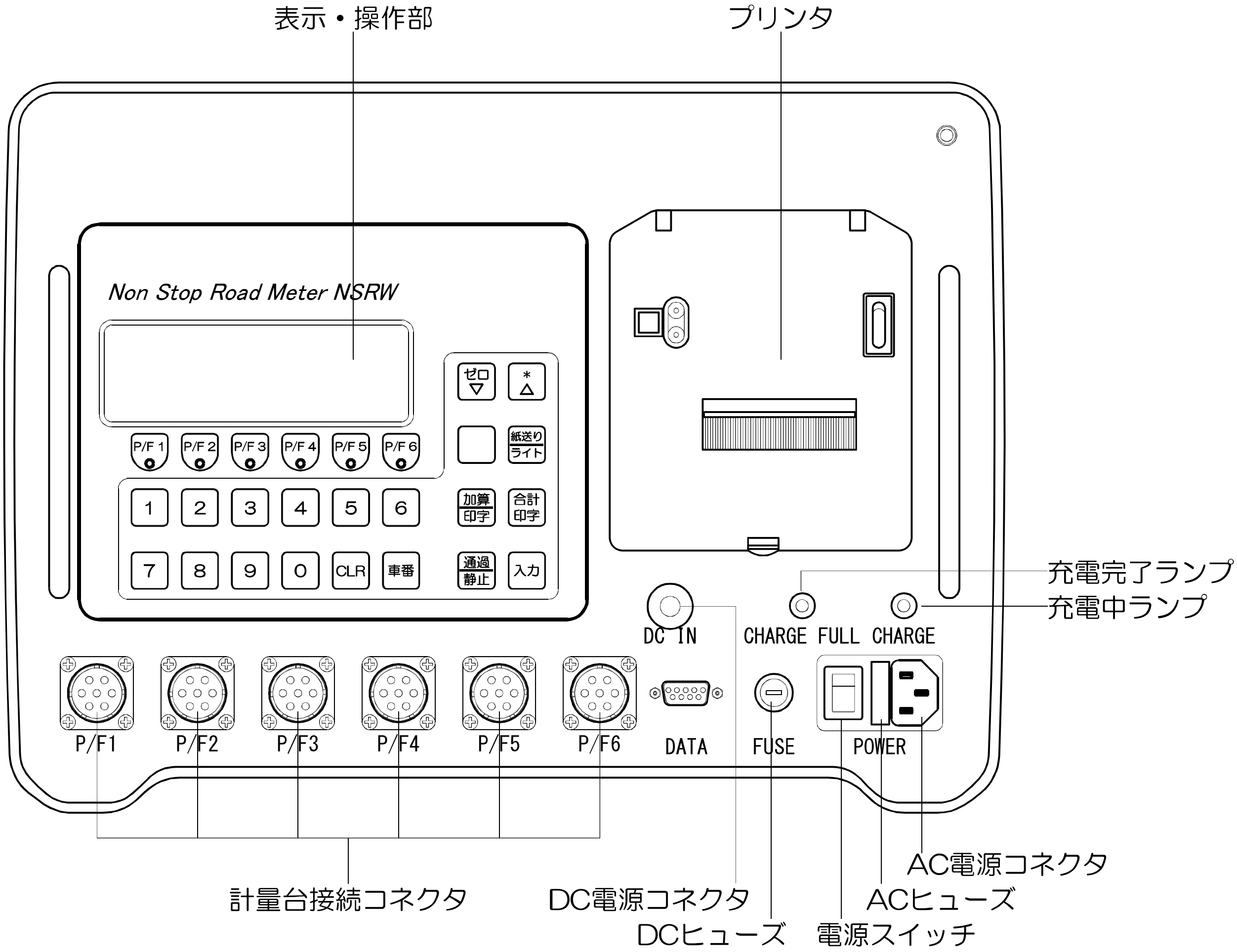
ケース蓋の開け方

ボタンを押し下げてレバーを引き上げる。

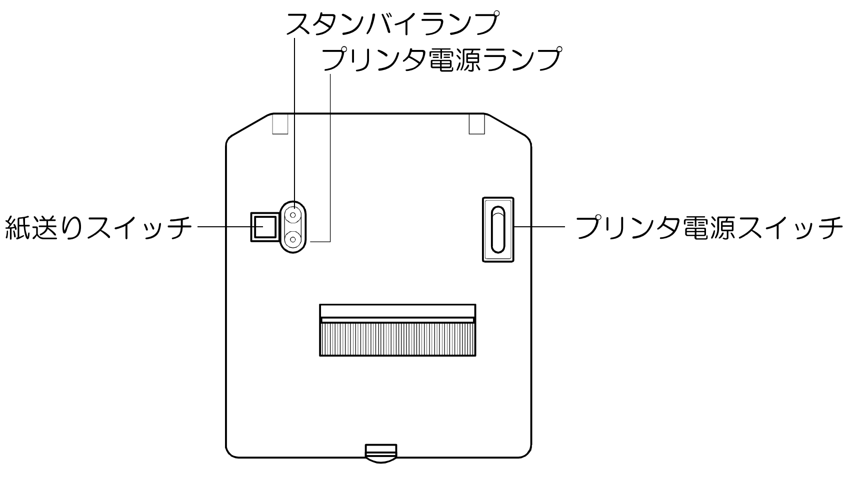


２章 各部の名称

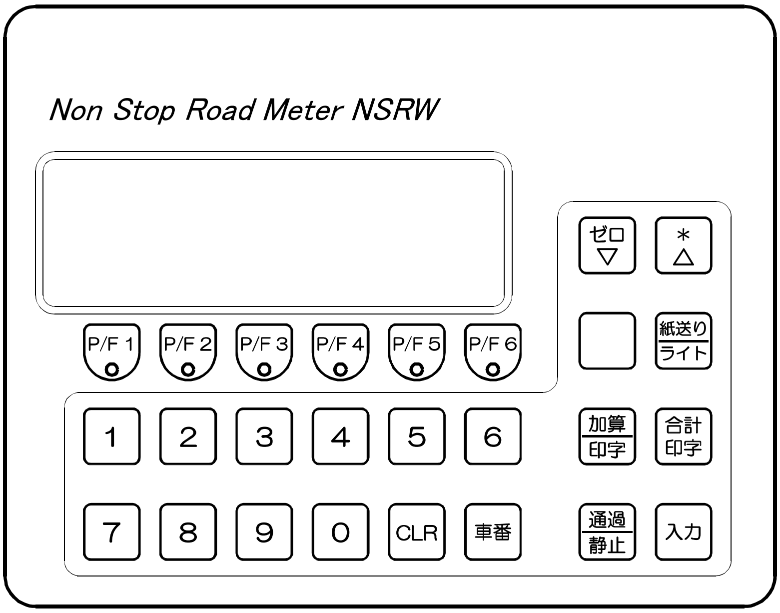
１．パネル



２．プリンタ



３．表示・操作部



ゼロ ▽	：	ゼロセット（表示をゼロにする）時に操作します。 調整モードで使用します。
＊ △	：	調整モードで使用します。
紙送り ライト	：	プリンタの紙送りを行います。 ３秒押し続けることにより、バックライト ON/OFF の切り替えを行います。
加算 印字	：	接続されている計量台の重量値を印字します。
合計 印字	：	各軸重の合計値を印字します。
通過 静止	：	３秒押し続けることにより、通過計量/静止計量の切り替えを行います。
入力	：	設定を確定する場合に操作します。
P/F 1 ～ P/F 6	：	接続できる計量台（P/F）を表示します。
CLR	：	入力値をクリアする場合に操作します。
車番	：	車番を入力する場合に操作します。 最大６桁までの車番入力が可能です。車番が０なら表示しません。 また、通過計量の場合は表示されません。

３章 操作方法

１．共通操作

① 計量台を、平坦で安定した場所に、車両のタイヤ間隔にあわせて平行に設置して下さい。

> ☞ *・ガタつきが無いように注意して下さい。*

② 計量台と指示計を、ロードセルケーブルで接続して下さい。このとき、計量台番号と指示計のＰ/Ｆ番号を一致させて下さい。

③ 指示計の電源スイッチをONにして下さい。(プリンタの電源スイッチをONにして下さい。)

④ 計量前に、重量値がゼロになっていることを確認して下さい。重量値がゼロになっていない場合には、[ゼロ▽]キーを押して下さい。

⑤ 車両番号を入力する場合は、[車番]キーを押して車番を入力し、[入力]キーを押して下さい。
車番は６桁まで入力できます。

> ☞ *・車番の初期値はゼロです。*
> *・車番のデータは、バックアップされています。*
> *(電源を切っても記憶しています。)*

２．電源について

この指示計は、内蔵バッテリーで使用します。
内蔵バッテリーは、AC電源、DC電源に接続した状態で充電されます。

> ☞ *・電源をONにした状態でも充電できます。*
> *・充填中は、充電中(CHARGE)ランプが点灯します。充電が完了すると充電完了(CHARGE FULL)ランプが点灯します。*
> *・充電時間は、約８時間です。但し、バッテリの残量や、周囲の温度により変動します。*
> *・ＤＣ電源の場合、十分に充電できない場合があります。*

注　意　***1. ＡＣ、ＤＣどちらの電源を接続しても、充電中(CHARGE)ランプが点灯しない場合は、バッテリが劣化し、充電できない状態になっています。***

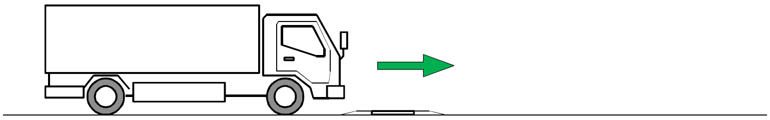
３．計量方法について

　この指示計では、通過計量と静止計量を選択できます。また静止計量では、２軸測定と多軸測定が行えます。

・計量方法を切り換える場合は、[通過静止]キーを３秒以上押し続けて下さい。
通過計量の場合は、「DYNAMIC WEIGHING」が点滅表示されます。
静止計量の場合は、「STATIC WEIGHING」又は「TRUCK No」が表示されます。

(1) 通過計量 (DYNAMIC WEIGHING)

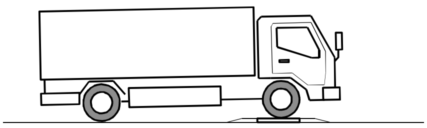
左右１対の計量台上をゆっくりと通過して計量する方法です。



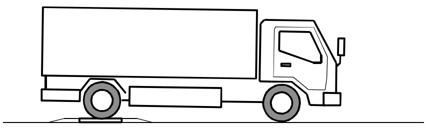
計量台上を通過

(2) 静止計量１軸測定 (STATIC WEIGHING)

左右１対の計量台上で、それぞれの車軸を停止させて計量する方法です。



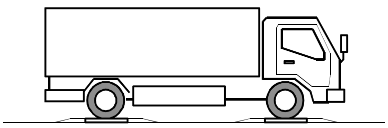
計量台上で停止



計量台上で停止

(3) 静止計量多軸測定 (STATIC WEIGHING)

車軸の数だけ計量台を用意して、その計量台上に停止させて計量する方法です。



計量台上で停止

・静止計量の場合、各車輪ごとの重量が測定できます。（偏荷予防）

４．通過計量

(1) 計量方法

注　意　*1. 通過計量は、計量台が指示計の P/F1、P/F2 のみに接続されている場合に使用できます。*

① 計量方法が、通過計量になっている（「DYNAMIC WEIGHING」が点滅表示されている）ことを確認してください 。

表示例：

```
1:      0kg 2:     0kg



 DYNAMIC WEIGHING
```

DYNAMIC WEIGHING ― 通過計量表示（点滅）

☞ ・［通過 静止］*キーを３秒以上押し続けると計量方法が切り替わります。*

② 時速 3km/h 以下の一定の速度で、計量台上を通過して下さい。

表示例：

1:　3210kg 2: 3240kg	計量台の重量値
A1　6450kg	1軸目の重量値
T:　6450kg	総合計
AXLE No: 1,　　1 km/h	軸番号、通過速度

☞ *・アクセルやブレーキ操作をしないで下さい。*

・最大８軸まで計量できます。

1:　5340kg 2: 5355kg	計量台の重量値
A2 10695kg	2軸目の重量値
T: 17145kg	総合計
AXLE No: 2,　　1 km/h	軸番号、通過速度

③ 最後の車軸が通過してから「通過待ち時間」経過後、合計値が印字されます。

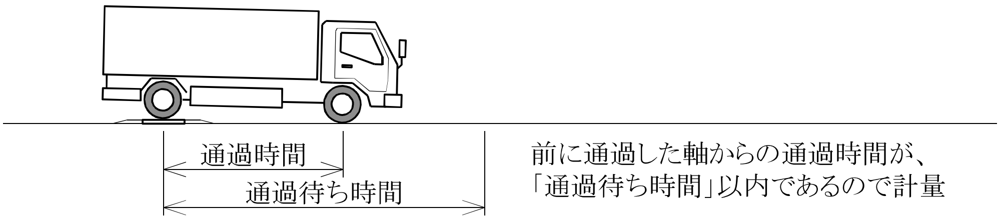
印字例

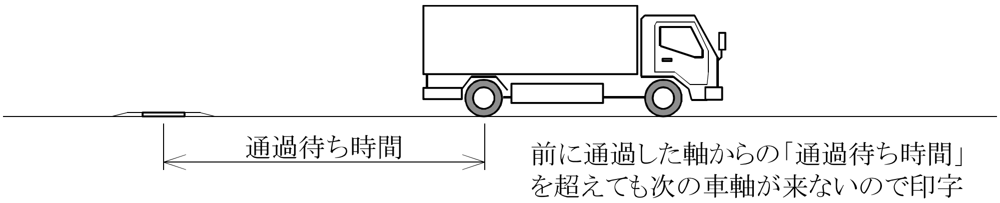
DYNAMIC WEIGHING	計量方法（通過計量）
2007.09.04　14:14:00	日時
Truck No.　:　54321	車番
AXLE 1:　6450 kg,　1 km/h	1軸目の重量値と通過速度
AXLE 2: 10695 kg,　1 km/h	2軸目の重量値と通過速度
--- TOTAL PRINT ---	
AXLE No : 2	軸数
TOTAL　:　17145 kg	車両の重量値

☞ *・車番がゼロに設定されている場合、Truck No. 行は、印字されません。*

・［合計 印字］*キーで再印字できます。*

・「通過待ち時間」と通過時間の関係は、以下のようになります。





・「通過待ち時間」は、SET mode のＦ１０で設定できます。
*（ 変更方法は、**「４章」**を参照して下さい。）*

(2) 過積載検出機能

合計した車輌重量が、あらかじめ設定した制限重量値を超えると、ブザーが鳴り、「OVER LIMIT」が表示されます。

*・この機能は、「**通過計量**」の場合に使用できます。*

・ブザーと「OVER LIMIT」表示は、 CLR *キーを押し続けると止まります。*

・接点出力により、外部の警告灯をＯＮできます。詳細は、「５章」３．を参照してください。

《制限重量値の設定方法》

① 重量表示のときに、 入力 キーを３秒以上、押し続けて下さい。

「SET START VALUE」が表示されます。

② 入力 キーを２回押して下さい。

「SET LIMIT VALUE」が表示されます。

③ 変更する場合は、数値キーで設定値を入力して下さい。

④ 入力 キーを押して下さい。自動的に次の設定表示になります。

項目	表示	コメント
LIMIT VALUE *通過計量時に、合計重量値がこの数値を超えると、ブザーが鳴り「OVER LIMIT」が表示されます。*	SET LIMIT VALUE D　　0	設定範囲：0 ～ 99999 初期値：0

・ブザーと「OVER LIMIT」表示は、 CLR *キーを押し続けると止まります。*

⑤ すべての設定が終わると、重量表示に戻ります。

５．静止計量

(1) １軸測定

① 計量方法が、静止計量になっている（「STATIC WEIGHING」又は「TRUCK No :」が表示されている）ことを確認して下さい。

表示例：

```
1:      0kg 2:     0kg ―― 計量台の重量値
A       0kg ―――――――――――― 合計値

TRUCK No:     54321 ―――― 車番(設定時のみ)
```

・[通過静止]キーを３秒以上押し続けると計量方法が切り替わります。

② １軸目の車輪を、計量台の中央に載せ、停止して下さい。

・車輪が、黄色い計量台以外に触れないように注意して下さい。

③ 重量表示値が安定したら[加算印字]キーを押して下さい。

１軸目の軸重を印字し、データを記憶します。

表示例：

```
1:  3360kg 2: 3020kg ―― 計量台の重量値
A1  6380kg ――――――――――― 1軸目の重量値

T:  2400kg No: 54321 ―― 総合計、車番
```

④ ２軸目以降、同様に計量して下さい。

・最大８軸まで計量できます。

```
1:  6080kg 2: 5310kg ―― 計量台の重量値
A2 11390kg ――――――――――― 2軸目の重量値

T: 17770kg No: 54321 ―― 総合計、車番
```

⑤ 最後の車軸の重量値を印字した後に、[合計印字]キーを押して下さい。合計重量を印字します。

・合計印字後、データはクリアされます。

印字例

STATIC WEIGHING	計量方法(静止計量)
2007.09.05 10:15:00	日時
Truck No. : 54321	車番
P/F 1 : 3360 kg	計量台(P/F)1の重量値
P/F 2 : 3020 kg	計量台(P/F)2の重量値
*AXLE1 : 6380 kg	1軸目の重量値
P/F 1 : 6080 kg	計量台(P/F)1の重量値
P/F 2 : 5310 kg	計量台(P/F)2の重量値
*AXLE2 : 11390 kg	2軸目の重量値
--- TOTAL PRINT ---	
2007.09.05 10:18:00	日時
AXLE No : 2	軸数
TOTAL : 17770 kg	車両の重量値

・車番がゼロに設定されている場合、Truck No.行は、印字されません。

(2) 多軸測定

① 計量方法が、静止計量になっていることを確認して下さい。

・[通過静止]キーを３秒以上押し続けると計量方法が切り替わります。

表示例：

```
1:      0kg 2:     0kg
3:      0kg 4:     0kg

 ZERO       No: 54321
```

計量台ごとの重量値

合計(ゼロ時)、車番

② 計量台を、車両の車輪にあわせて設置して下さい。

③ 各軸の車輪を、計量台の中央に載せ、停止して下さい。

・車輪が、黄色い計量台以外に触れないように注意して下さい。

表示例：

```
1:   3360kg 2: 3020kg
3:   6080kg 4: 5310kg

T: 17770kg No: 54321
```

計量台ごとの重量値

合計値、車番

④ 重量値が安定したら、[合計印字]キーを押して下さい。車両の重量を印字します。

印字例

```
--- TOTAL PRINT ---
2007.09.05  10:32:00
TOTAL :    17770 kg
```

日時

車両の重量値

・６軸での表示は、以下のようになります。

表示例：

```
1:      0kg 2:     0kg
3:      0kg 4:     0kg
5:      0kg 6:     0kg
 ZERO       No: 54321
```

計量台ごとの重量値

合計(ゼロ時)、車番

- *車番がゼロに設定されている場合、Truck No.行は、印字されません。*
- *軸重を印字する場合は、*［加算印字］*キーを押して下さい。その後、必ず*［合計印字］*キーを押して下さい。*

印字例

STATIC WEIGHING	計量方法(静止計量)
2007.09.05　10:30:00	日時
Truck No.　:　54321	車番
P/F　1 :　　3360 kg	計量台(P/F)1の重量値
P/F　2 :　　3020 kg	計量台(P/F)2の重量値
*AXLE1 :　　6380 kg	1軸目の重量値
P/F　3 :　　6080 kg	計量台(P/F)3の重量値
P/F　4 :　　5310 kg	計量台(P/F)4の重量値
*AXLE2 :　11390 kg	2軸目の重量値
--- TOTAL PRINT ---	
TOTAL :　　17770 kg	車両の重量値

--- TOTAL PRINT ---	
2007.09.05　10:32:00	日時
TOTAL :　　17770 kg	車両の重量値

４章 内部定数の変更方法

１．ＳＥＴ mode

① 通過静止 キーを押したまま、電源スイッチを ON にして下さい。「SETTING MODE」が表示され、F06 設定表示になります。

☞ *・「SETTING MODE」が表示されるまで 通過静止 キーを押したままにして下さい。*

② 変更する場合は、数値キーで設定値を入力して下さい。

③ 入力 キーを押して下さい。自動的に次の設定表示になります。

No	項目	表示	コメント
F06	改行数	F06 LINE FEED 0→20 line SET 1 line	設定範囲：0 ～ 20 初期値：1
F09	電源 ON 時の動作	F09 SET STATIC/DYNAMIC 0:STATIC 1:DYNAMIC SET 0	0：静止計量、1：通過計量 初期値：0
F10	車軸通過待ち時間	F10 LAST AXLE END TIME 1→ 19 sec SET 5 sec	設定範囲：1～19 sec 初期値：5 sec
F20	時計	F20 DATE & TIME 0:NONE 1:USE SET 1	0：使用しない、1：使用する 初期値：1 時計を使用する場合は、日時設定に移る。
		SET 7 YEAR	年の設定
		SET 4 MONTH	月
		SET 12 DAY	日
		SET 9 HOUR	時
		SET 20 MINUTE	分
		SET 55 SECOND	秒

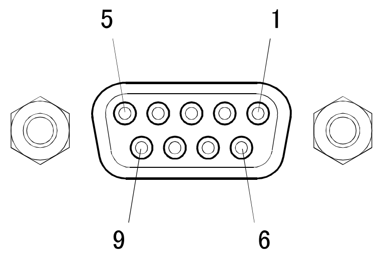
④ すべての設定が終わると、電源スイッチ ON 時と同じ動作をします。

注　意　*1. 途中で電源スイッチを OFF にすると、設定は無効になります。*

５章 データ出力

注意 ： データ出力機能は、プログラム Ver １．５９ 以降から対応しています。

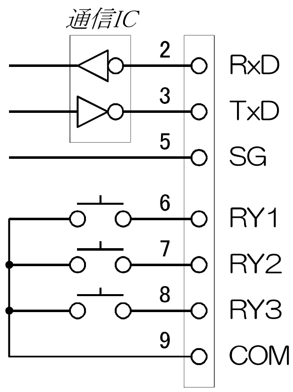
１．コネクタ



D-sub 9p オス

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	―	―	
2	RxD	I	RS-232C 受信データ
3	TxD	O	RS-232C 送信データ
4	―	―	
5	SG	―	RS-232C 信号接地
6	RY1	O	接点出力-1
7	RY2	O	接点出力-2
8	RY3	O	接点出力-3
9	COM	O	接点出力-コモン

内部回路



２．RS-232C

(1) 通信仕様

同期方式	：	調歩式
伝送速度	：	9600 bps
スタートビット	：	1 bit
データ長	：	8 bit
ストップビット	：	1 bit
パリティ	：	なし
ターミネータ	：	<cr><lf>

(2) 標準通信フォーマット

0〜4	5	6	7	8	9〜16	17	18	19	20	21
車両番号	","	<sp>	stts	","	重量Data	<sp>	"k"	"g"	<cr>	<lf>

<sp>：0x20（スペース）
<cr>：0x0D
<lf>：0x0A

重量Data：空欄は<sp>になります。

stts：
"1"～"6"：P/F番号（静止計量時）
"1"～"8"：軸番号（通過計量時）
"T"：総重量

車両番号：空欄は<sp>になります。

注　意　***1.　車両番号は６桁まで入力できますが、送信は下位５桁になります。***

・計量方法ごとの通信フォーマットは、以下のようになります。

静止計量でのP/F重量

0〜4	5	6	7	8	9〜16	17	18	19	20	21
車両番号	","	<sp>	stts	","	重量Data	<sp>	"k"	"g"	<cr>	<lf>

stts："1"～"6"：P/F番号

通過計量での軸重量

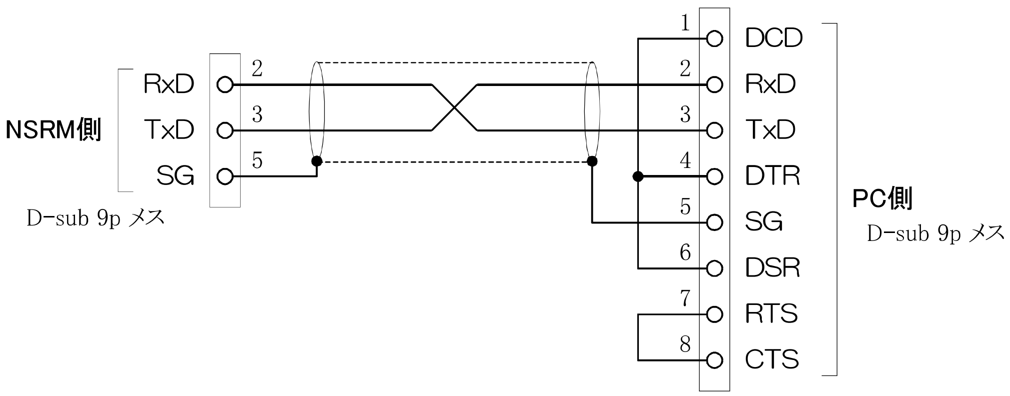
0〜4	5	6	7	8	9〜16	17	18	19	20	21
車両番号	","	<sp>	stts	","	重量Data	<sp>	"k"	"g"	<cr>	<lf>

stts："1"～"8"：軸番号

合計重量

0〜4	5	6	7	8	9〜16	17	18	19	20	21
車両番号	","	<sp>	"T"	","	重量Data	<sp>	"k"	"g"	<cr>	<lf>

(3) 通信ケーブル例



注　意　***2.　市販の通信ケーブルは使用しないで下さい。***

・市販の通信ケーブルの場合、6～9 ピンが接続されていないものを使用して下さい。

(4) 通信機能の選択

① 入力キーを押したまま、電源スイッチを ON にして下さい。
「ENTER　PASSWORD」が表示されます。

・「ENTER PASSWORD」が表示されるまで 入力 キーを押したままにして下さい。

② パスワード［106］を入力して入力キーを押して下さい。
F02 設定表示になります。

No	項目	表示	コメント
F02	通信設定	F02 RS-232C FORMAT 0→ 6 SET　0	設定範囲 ：0 ～ 6 初期値 ：0

③ 使用するフォーマットの数字キーを押して、入力キーを押して下さい。
自動的に次の設定表示になります。

注　意　*3.　F０２以外の設定値は変更しないで下さい。正常に作動しなくなる恐れがあります。*

・通信機能の詳細は、次項を参照して下さい。

④ 電源 ON 時と同じ表示になるまて、何回か入力キーを押して下さい。

(5) 通信機能の詳細

設定値	計量方法	通信機能
0	―	なし
1	静止計量	使用しているP/F の重量値を連続送信 例： P/Fが 2枚の場合 P/F 1 重量Data P/F 2 重量Data P/Fが 6枚の場合 P/F 1 重量Data P/F 2 重量Data P/F 3 重量Data P/F 4 重量Data P/F 5 重量Data P/F 6 重量Data

設定値	計量方法	通信機能
2	静止計量	[加算印字]キー操作ごとにP/Fの重量値を送信 例：　P/Fが2枚の場合 P/F 1 重量Data ↓ P/F 2 重量Data P/Fが6枚の場合 P/F 1 重量Data ↓ P/F 2 重量Data ↓ P/F 3 重量Data ↓ P/F 4 重量Data ↓ P/F 5 重量Data ↓ P/F 6 重量Data [合計印字]キーで合計重量値を送信 例：　合計重量Data
3	通過計量	合計印字時に、合計重量値を送信 例：　合計重量Data
4	通過計量	合計印字時に、各軸重量値と合計重量値を送信 例：　2軸の場合 1軸目 重量Data ↓ 2軸目 重量Data ↓ 合計重量Data 4軸の場合 1軸目 重量Data ↓ 2軸目 重量Data ↓ 3軸目 重量Data ↓ 4軸目 重量Data ↓ 合計重量Data
5	静止計量	外部表示器に、現重量値を送信します。
6	静止計量 通過計量	外部表示器に、合計重量値を送信します。 *・表示の詳細は、次項を参照して下さい。*

注　意　　*4.　設定値と計量方法が一致しないと機能しません。*

(6) 外部表示の詳細

設定値が「６」の場合の表示は、以下のようになります。

① 通過計量

通過した軸重量の合計値を表示します。

状態	表示	備　考
スタート	0 kg	
Ａ車　１軸目通過（軸重 6000 kg）	6000 kg	*1軸目の重量値*
Ａ車　２軸目通過（軸重 8000 kg）	14000 kg	*1軸目と2軸目の合計値*
Ａ車　３軸目通過（軸重 7000 kg）	21000 kg	*1軸目～3軸目の合計値*
合計印字後、次の車両が載るまで合計重量値を表示しています。		
Ｂ車　１軸目通過（軸重 7600 kg）	7600 kg	*1軸目の重量値*
Ｂ車　２軸目通過（軸重 8000 kg）	8000 kg	*1軸目と2軸目の合計値*
Ｂ車　３軸目通過（軸重 6000 kg）	19000 kg	*1軸目～3軸目の合計値*
合計印字後、次の車両が載るまで合計重量値を表示しています。		

② 静止計量

[加算印字]キーを押して加算される重量を表示します。

状態	表示	備　考
スタート	0 kg	
Ｃ車　１回目の計量（軸重 6900 kg）	6900 kg	*1軸目の重量値*
Ｃ車　２回目の計量（軸重 8200 kg）	15100 kg	*1軸目と2軸目の合計値*
Ｃ車　３回目の計量（軸重 7200 kg）	22300 kg	*1軸目～3軸目の合計値*
合計印字	0 kg	*合計印字後、ゼロを表示。*
Ｄ車　１回目の計量（軸重 6000 kg）	6000 kg	*1軸目の重量値*
Ｄ車　２回目の計量（軸重 8200 kg）	14200 kg	*1軸目と2軸目の合計値*
Ｄ車　３回目の計量（軸重 7800 kg）	22000 kg	*1軸目～3軸目の合計値*
合計印字	0 kg	*合計印字後、ゼロを表示。*

・使用できる外部表示器の仕様については、別途お問い合わせ下さい。

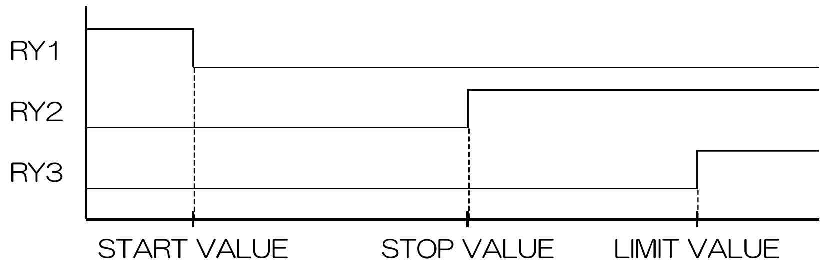
３．接点出力

(1) 出力仕様

接点容量　：　DC30V 2A
接点接触抵抗　：　50mΩ以下
最小適用負荷　：　10μA、10mV (参考値)

注　意　*5. 使用しているリレーの仕様により、AC 負荷の開閉はできません。*
AC 負荷の開閉を行う場合は、別途、DC 電源および AC 負荷開閉用リレーをご用意下さい。(接続例をご参照下さい。)

(2) 動作



(3) 判定値の設定

① 重量表示のときに、入力キーを３秒以上、押し続けて下さい。
「SET START VALUE」が表示されます。

② 変更する場合は、数値キーで設定値を入力して下さい。

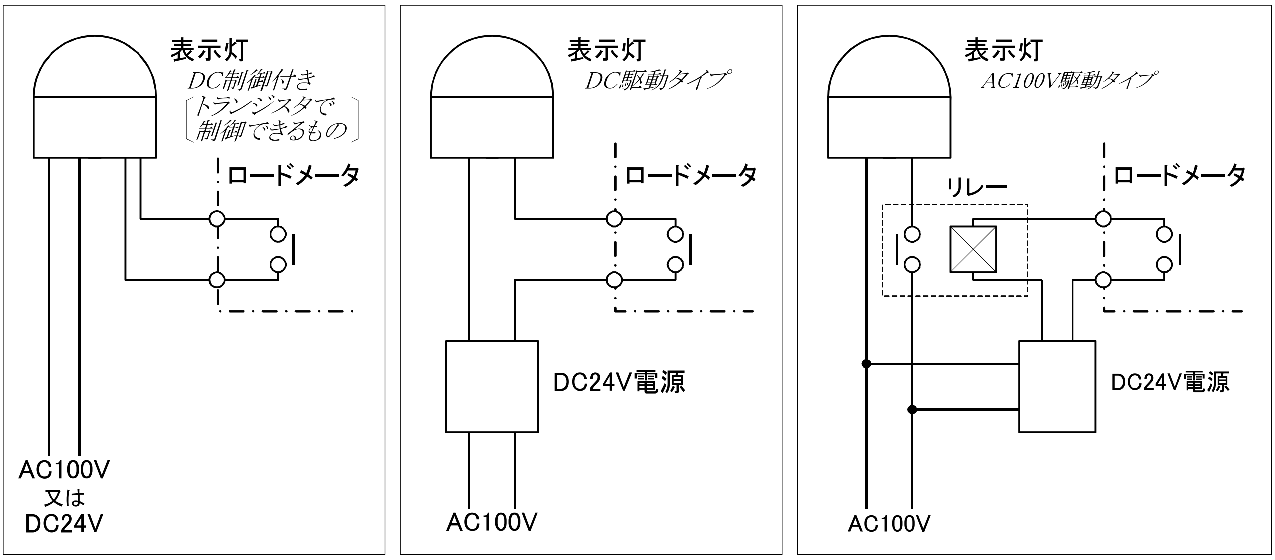
③ 入力キーを押して下さい。自動的に次の設定表示になります。

項目	表示	コメント
START VALUE *計量台に何も載っていないことの確認*	SET START VALUE D　　0	設定範囲：0 ～ 99999 初期値：0
STOP VALUE *計量台に何か載っていることの確認*	SET STOP VALUE D　　0	設定範囲：0 ～ 99999 初期値：0
LIMIT VALUE *通過計量時に、合計重量値がこの数値を超えると、ブザーが鳴り「OVER LIMIT」が表示されます。*	SET LIMIT VALUE D　　0	設定範囲：0 ～ 99999 初期値：0

・ブザーと「OVER LIMIT」表示は、CLRキーを押し続けると止まります。

④ すべての設定が終わると、重量表示に戻ります。

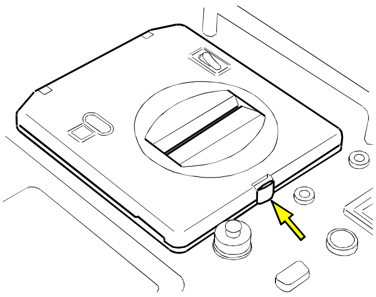
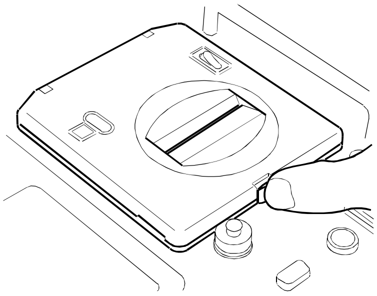
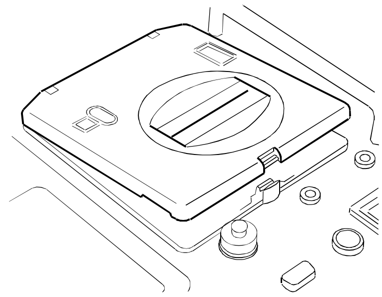
（4） 接続例



注 意　*6. 接続方法は、各表示灯の資料（取扱説明書、仕様書等）を参照して下さい。*

６章 メンテナンス

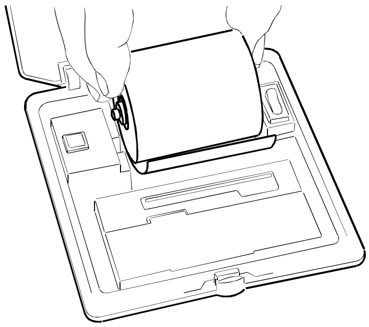
１．用紙の交換方法

① 上図の矢印の部分を指で押して、カバーを開けて下さい。

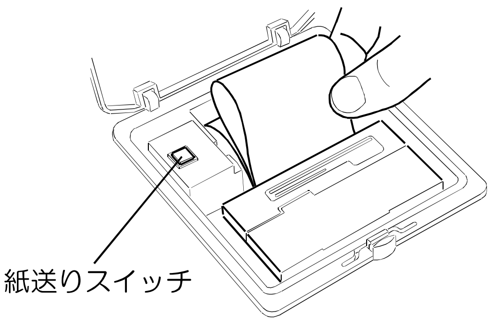
② 使用済みのロール紙を後ろに引き抜いて、シャフトごと取り出します。

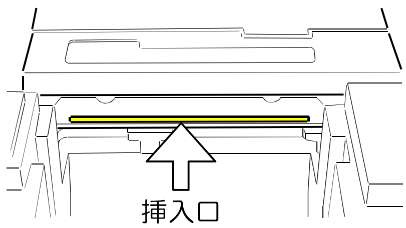
③ 新しいロール紙の接着部分をきれいにはがし、シャフトを差し込んで、プリンタにセットします。



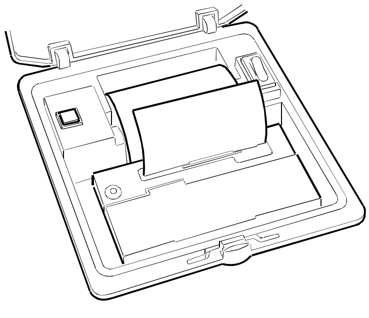
・用紙の端をはさみ等で切っておくと、後の作業がスムーズに行えます。

・用紙の向きに注意して下さい。



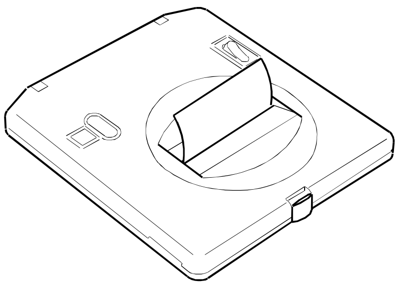


④ プリンタ・ユニットの用紙挿入口に、差し込んで、用紙送りスイッチを押して下さい。
正しく挿入されていれば用紙が送られていきます。



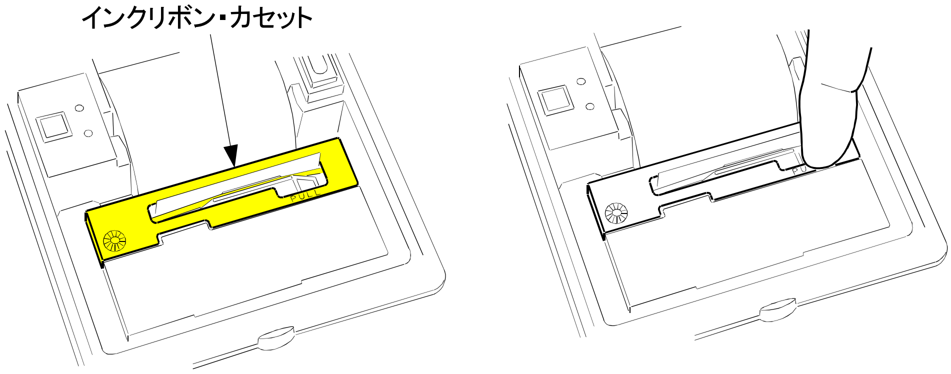
⑤ プリンタから５～６cm 用紙が出てきたら、再度スイッチを押して、紙送りを止めて下さい。

⑥ 用紙をスリットに通しながら、プリンタ・カバーを閉じます。



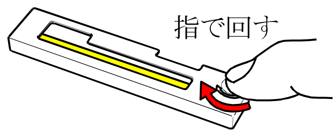
２．インクリボンの交換方法

① 前ページを参照して、カバーを開けて下さい。



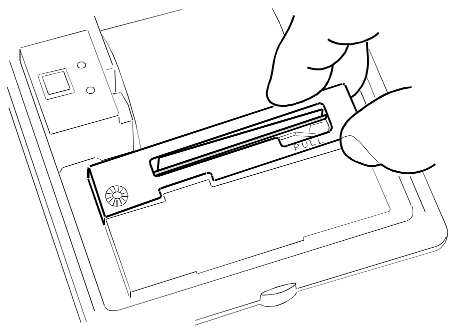
② インクリボン・カセットの「PULL」と記入されている部分に指をかけて、上に引き上げて下さい。インクリボン・カセットが取り外せます。

③ 新しいインクリボン・カセットのツマミを指の腹で回して、インクリボンのたるみを取ります。



④ インクリボン･カセットを元通りにセットして下さい。

・インクリボンが用紙の手前になるようにセットして下さい。



３．こんなときには

症状		*対策等*
「P/F n OVER WEIGHT」が表示された。（n: P/F 番号）	⇨	・表示された P/F 番号の計量台に、ひょう量を超える重量の車両が載っていませんか。 ・表示された P/F 番号のケーブルは正しく接続されていますか。 ・表示された P/F 番号のケーブルやコネクタに異常がないかを確認して下さい。 ***上記に該当しない場合、計量台の異常です。***
車両が載っても重量値が変化しない。	⇨	・変化しない P/F 番号のケーブルは正しく接続されていますか。 ・変化しない P/F 番号のケーブルやコネクタに異常がないかを確認して下さい。 ***上記に該当しない場合、計量台の異常です。***
印字すると表示が消える。	⇨	・バッテリは十分に充電されていますか。
正しく印字できない。	⇨	・印字用紙がつまっていませんか。 ・バッテリは十分に充電されていますか。
バッテリでの使用可能時間が短くなった。	⇨	・そろそろバッテリの寿命です。 *バッテリを交換して下さい。*
12 時間以上充電しても、充電完了ランプが点灯しない。	⇨	・そろそろバッテリの寿命です。 *バッテリを交換して下さい。*
電源を接続しても、充電中ランプ、充電完了ランプ どちらも点灯しない。	⇨	・バッテリの寿命により充電できません。 *バッテリを交換して下さい。*

注　意

1. 充電が必要な状態（印字すると表示が消える、プリンタの動作が遅い等）でバッテリーを使用し続けると、バッテリーが劣化し充電できなくなる場合があります。

2. 使用後は、なるべく早く充電してください。
使用したまま長時間放置していると、バッテリーが劣化する場合があります。

７章 付録

１．指示計仕様

(1) 表示部

重量表示部	:	20 文字×4 行 ドットマトリックス液晶表示（バックライト付き）
文字高	:	9mm

(2) 印字部

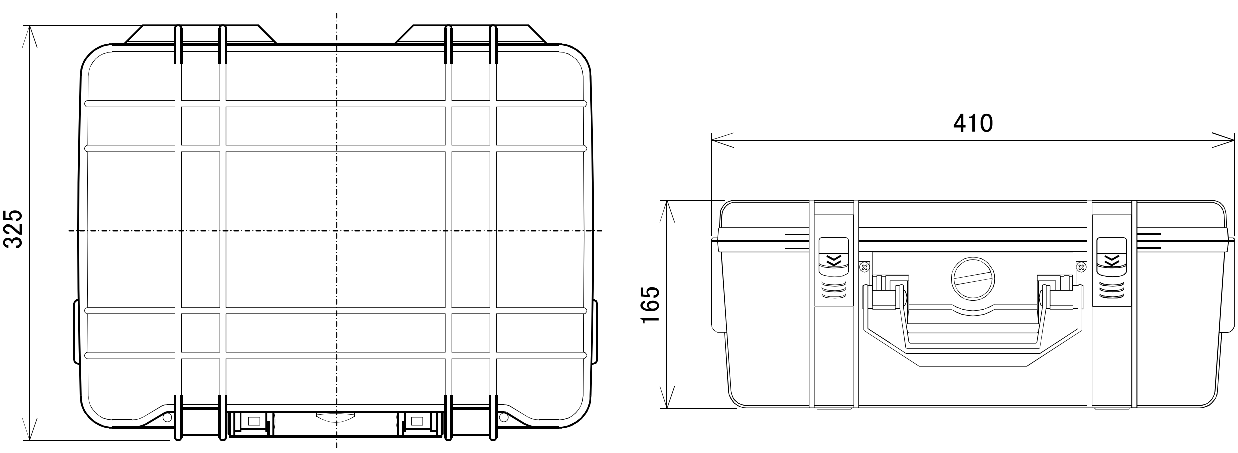
印字方式	:	40 桁ドットインパクト
印字速度	:	約 1.5 行／秒
インクリボン	:	ERC-09
印字用紙	:	ロール紙（幅 58mm、巻径 50mm ）

(3) アナログ部

印可電圧	:	DC 5V
ゼロ調整範囲	:	±5mV
入力感度	:	2μV/D or 0.5μV/D
直線性	:	0.01% F.S.
A/D 分解能	:	1/1,000,000
内部処理分解能	:	1/5,000 or 1/30,000
変換速度	:	100 回/Sec

(4) その他

電源	:	内蔵バッテリー（6V/20AH）
消費電力	:	10W
バッテリ使用時間	:	最大 20 時間 *（充電時間、計量・印字回数により異なります。）*
充電方法	:	AC100V 50/60Hz DC12～30V (カージャック)
充電時間	:	AC100V で約８～１２時間
使用温度範囲	:	－10 ～ 40℃
外形	:	w410mm × d325mm × h165mm
自重	:	約 11.5kg



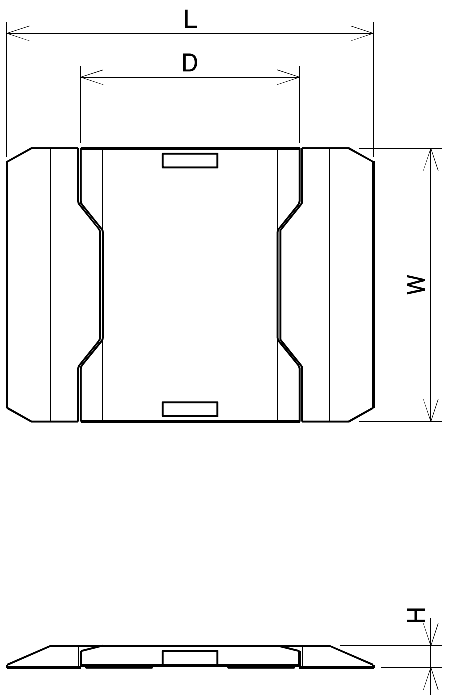
2．計量台について

(1) 仕様

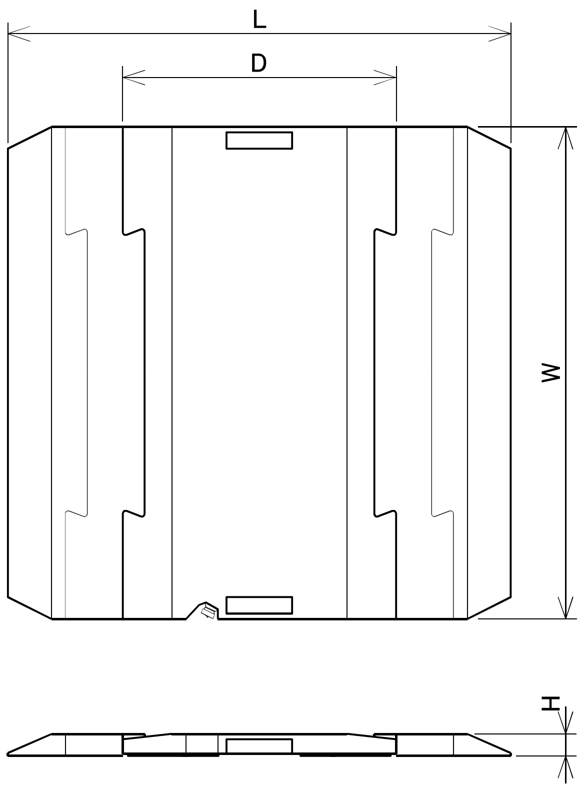
型　　式	RM-05T	RM-10T	RM-15T
ひょう量	5,000kg	10,000kg	15,000kg
最小目量	2kg	5kg	10kg
最大精度	静止計量	0.3%	（工場検査時）
	通過計量	3%	（工場検査時）
保護等級	IP65		
外　　形　H	41mm		
W	500mm	900mm	900mm
D	400mm	500mm	500mm
L	670mm	918mm	918mm
重　　量	16kg	30kg	30kg

共通付属品：スローププレート、ロードセルケーブル

・RM-05T の計量台とスローププレートは一体型です。

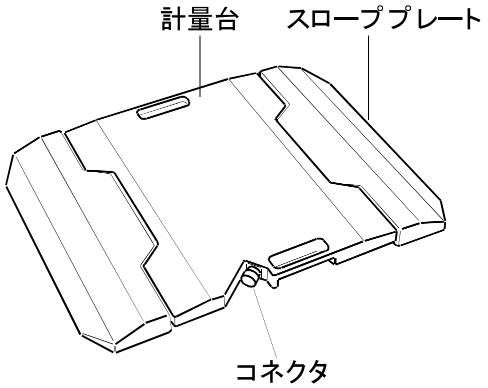


RM-05T

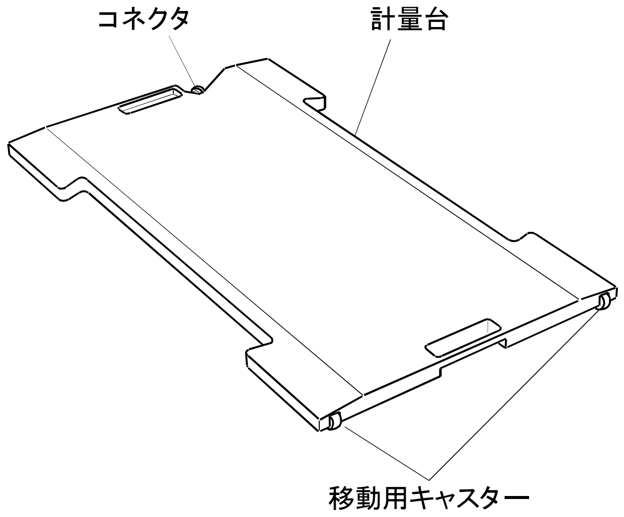


RM-10T/15T

(2) 計量台の名称



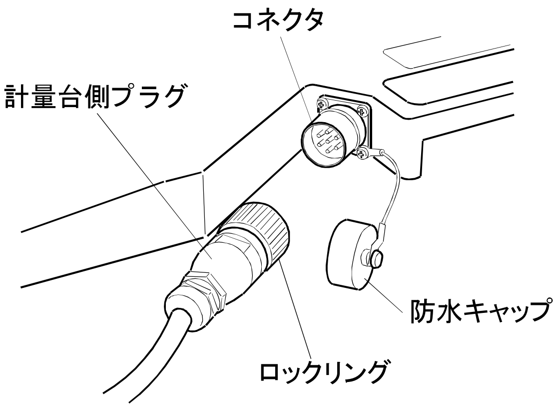
RM-05T

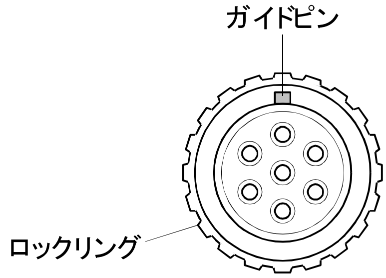


RM-10T/15T

注　意　*1. コネクタには、防水キャップが付属しています。計量台を使用しない場合は、コネクタに必ず防水キャップを取り付けて下さい。*

(3) 計量台へのロードセルケーブルの接続方法





① コネクタの防水キャップを外し、計量台プラグのガイドピンの向きに注意して（ガイドピンが上になるように）差し込んで下さい。

② ロックリングを回して、コネクタにねじ込んで下さい。

注　意　*2. ロックリングは確実にしめ込んで下さい。不十分な場合、防水効果が損なわれ、故障の原因になる場合があります。*